

環境・安全レポート 2026

(レスポンシブル・ケア活動報告)

自然環境を大切に、地域と共に
発展を目指します。



オキシラン化学株式会社 三重工場

環境・安全レポート 目次

1. ごあいさつ	1
2. 工場の概要	2
3. 環境保全活動	3
4. 環境マネジメントシステムの状況	4
(1) 環境マネジメントシステムの構築	4
(2) 2026 年度環境目標	4
(3) 環境管理推進組織	4
(4) 教育活動	4
(5) 緊急事態への対応	5
(6) 法規制への対応	5
5. 環境管理活動の取り組み状況	5
(1) 2025 年度の環境目標と実績	5
(2) 2026 年度版環境会計（2025 年度実績）	6
(3) 環境事故	7
(4) 省エネルギー活動とエネルギー使用量の推移	7
(5) 産業廃棄物の外部処理量推移と削減の取り組み	8
(6) 水質汚濁防止の取り組み	9
(7) 騒音・振動防止の取り組み	10
(8) 悪臭防止の取り組み	10
(9) 特定化学物質排出量管理の取り組み	10
(10) 環境コミュニケーション	11
6. 安全への取り組み	12
(1) 2025 年度安全目標と実績	12
(2) 防災訓練への参加	12
アンケート	14

1. ごあいさつ

本レポートは、2025年度に当工場が展開してきた環境・安全活動をまとめたものです。

当工場は2001年3月に環境マネジメントシステムの国際規格ISO 14001を取得し、その管理システムに基づいて活動を展開しています。

2025年度の省エネルギー活動として、排温水の有効利用、LED照明への更新、蒸気トレースのトラップ定期点検・管理などを継続して実施しました。蒸気・電気原単位の前年1%低減目標に対し、生産数量の減少に加え、生産品種構成や設備運用条件の影響により、蒸気は11.7%増、電気は4.4%増で共に目標未達の結果となりました。

廃棄物については、工程・設備改善等により削減を図っています。2025年度も廃棄物削減活動として内部処理を継続しておりますが、生産品種構成による影響から廃酸発生量などが増加したため、外部委託処理量は前年比増となりました。

2025年度の実績は完全ゼロエミッション^{※1}を達成し、2011年度より継続しています。

当工場では「4つ（労働・環境・品質・設備）の安全に関するゼロを目指し“安心ブランド”を醸成する／社会に貢献する企業を目指す」を基本に基盤活動の強化を進め、地域社会の皆様、お客様、株主及び従業員が安心できる工場運営を継続して参ります。

今後も皆様のご意見、ご指導をいただきながら、環境維持・改善活動へ積極的に取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

※1 完全ゼロエミッションの定義は、「最終埋立処分量が廃棄物発生量の0.1%未満」としています。

2026年8月

オキシラン化学株式会社

三重工場長 江上山彦

2. 工場の概要

当工場は、塩化ビニル樹脂用の安定剤兼可塑剤で、食品接触材料安全センターによる自主基準（ポジティブリスト）に収載されており、食品包装用添加剤としての使用が認められているエポキシ化大豆油の連続製造プラントとして、1969年に旭電化工業株式会社（現・株式会社ADEKA）三重工場に隣接して開設されました。三重県北西部の住宅地と田園に囲まれ、自然に恵まれた地にあります。

エポキシ化大豆油の連続プラントの他にバッチ式プラントを有しており、得意とするエポキシ化技術を活かしてその他の各種誘導品を製造しています。販売は全て以下の株主4社が行う生産専門会社であり、製造された製品は幅広い用途で使用されています。

- (1) 設立年月日 1967年(昭和42年) 10月18日
1969年(昭和44年) 10月 3日 工場竣工
- (2) 株主 株式会社ADEKA、DIC株式会社、
新日本理化株式会社、日油株式会社
- (3) 敷地面積 38,700 m²
- (4) 主要製品 エポキシ化大豆油、
各種誘導品
- (5) 所在地 本社 東京都中央区日本橋本町4-1-13（スリーピー日本橋ビル）
工場 三重県員弁郡東員町山田 3614-4
- (6) 工場の主な活動
 - (環境安全) 2001年3月に国際環境マネジメントシステム ISO 14001 を認証取得し、環境に配慮した化学工場を目指して、継続的改善活動を推進。2017年12月に ISO 14001(2015年版)へ更新し、運用中。
 - (労働、設備安全) 日常3大活動(ヒヤリ・気掛け、Jカード運動、安全行動宣言)の実行、基本行動の順守、安全パトロール、リスクアセスメントによるプロセス、設備などのリスク抽出・評価や安全改善を実施。
 - (品質安全) 1997年10月に 国際品質マネジメントシステム ISO 9002 を認証取得し、品質の維持・改善活動を推進。2017年9月に ISO 9001(2015年版)へ更新し、運用中。

3. 環境保全活動

〔三重工場環境方針〕

当工場では、環境マネジメントシステム ISO 14001 の認証取得を機に環境方針を定め、以下の方針に則って活動しています。

環境方針

当工場は、地域と共存・共栄し豊かな自然を守るため、安全優先の工場運営を行い、安全・環境保全活動に取り組みます。

1. 当工場に適用される法的要求事項および当工場が同意する要求事項を順守します。
2. 安全・環境保全の継続的改善と環境汚染の予防に努めます。
3. 環境目標を設定し、廃棄物・エネルギーの環境負荷低減に努めます。
4. 教育訓練・啓蒙活動を通じ、当工場で働く全ての人の安全・環境意識を向上させます。
5. 積極的に情報公開し、社会の信頼を得るよう努めます。
6. 生物多様性への取り組みを推進し、社会に対する企業の役割を果たしていきます。

オキシラン化学株式会社
三重工場長 **江上 山彦**

4. 環境マネジメントシステムの状況

(1) 環境マネジメントシステムの構築

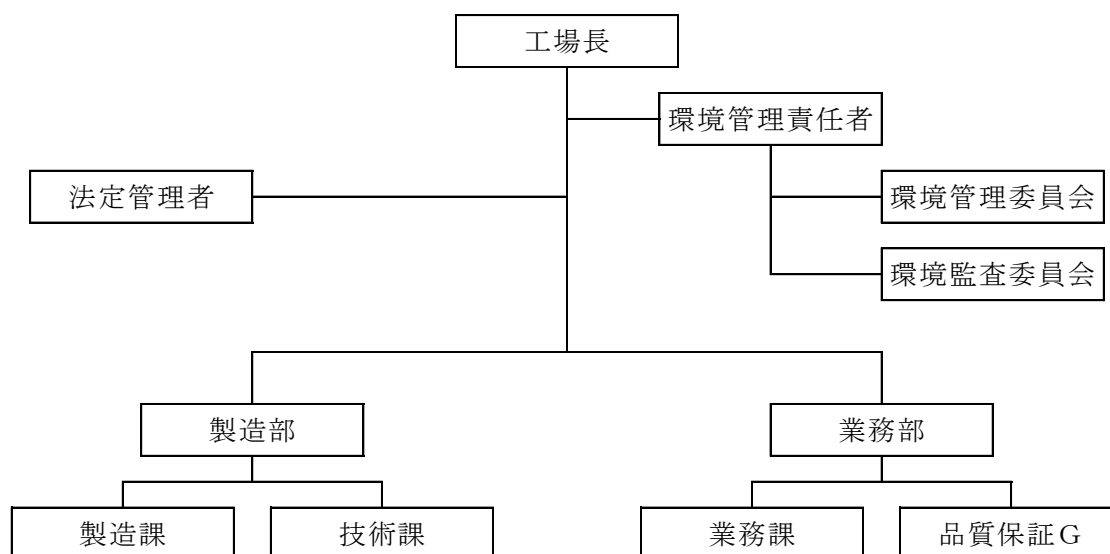
当工場は、ISO 14001 の規格に沿った環境マネジメントシステムを構築しています。システムの基本は Plan(方針、計画)→Do(実施、運用)→Check(点検)→Action(是正、見直し)を繰り返して継続的改善を図ることにあります。

2026 年度の目標は以下の通りです。

(2) 2026 年度環境目標 (2026 年度：2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

環境目標	
① 環境事故	0 件(公害・苦情なし)
② 省エネルギー	1 %低減 (対前年実績原単位)
③ 環境予防処置	14 件以上
④ グリーン購入率	80 %以上
⑤ 最終埋立処分量	発生量の 0.1%未満(完全ゼロエミッションの達成)

(3) 環境管理推進組織



(4) 教育活動

当工場では全ての部署および階層の責任と権限を明確に規定しています。環境管理の重要性周知、公害防止設備の運転・点検技能の向上、緊急対処法などを盛り込んだ教育・訓練計画を作成し、全従業員を対象に教育・訓練を行っています。

また、運用上必要な資格を法定人数以上が取得しており、全体レベルの向上に努めています。

(5) 緊急事態への対応

地震などの万一の事態に備えて、緊急時の対応内容を基準、標準等に規定し明確にしています。緊急事態発生は警報にて通知され、発生部署での初期緊急対応を行います。工場全体の緊急対応については隣接する株式会社A D E K A 三重工場と共同で組織されている防火・防災管理組織により対応する体制となっており、自衛消防隊組織は消防操法、救急救命等の訓練を受けた従業員で構成されています。

また、巨大地震に備えたBCP(事業継続計画)に継続して取り組んでいます。

(6) 法規制への対応

当工場が規制を受ける法令は「水質汚濁防止法」、「下水道法」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「毒物及び劇物取締法」、「労働安全衛生法」、「悪臭防止法」、「工場立地法」やその他化学物質の規制に係わる各種法律があります。これらの法令および関連条例で定められた規制値については全て順守しています。尚、法規制への対応状況詳細は、次の5. 環境管理活動の取り組み状況 に記載しています。

5. 環境管理活動の取り組み状況

(1) 2025 年度の環境目標と実績

項目	目標(2025 年度)	実績	結果
① 公害・苦情(環境事故)	0 件	0 件	達成
② 省エネルギー	対前年実績原単位 1%低減	蒸気 11.7%増加 電気 4.4%増加	未達 未達
③ 環境予防処置	14 件以上	14 件	達成
④ グリーン購入率	80%以上	100%	達成
⑤ 最終埋立処分量	発生量の 0.1%未満	0.02%	達成

(2) 2026 年度版環境会計（2025 年度実績）

集計期間：2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日（2025 年度実績）

環境保全コスト			(単位 千円)	
分類		主な取り組みの内容	投資額	費用額
(1)	事業エリア内コスト	次の 3 つに分類		
	1. 公害防止コスト	大気・水質・土壌・騒音・振動・悪臭・地盤沈下等の防止	37,575	79,314
	2. 地球環境保全コスト	地球温暖化防止(省エネ)、オゾン層破壊防止	6,020	11,245
	3. 資源循環コスト	廃棄物の発生抑制、削減、リサイクル等の資源循環	0	242
(2)	上・下流コスト	グリーン購入、容器包装の環境負荷低減、製品の回収・再商品化	0	317
(3)	管理活動コスト	環境 ISO、環境情報開示、環境負荷監視、緑化	0	3,787
(4)	研究開発コスト	環境保全に係わる研究・開発費	0	0
(5)	社会活動コスト	事業所外の緑化・美化、環境保護団体への寄付・支援	0	140
(6)	環境損傷対応コスト	水質・土地汚染等の浄化、自然修復	0	0
合 計			43,595	95,045

環境保全対策に伴う経済効果（実質的効果）		(単位 千円)
効果の内容		金額
リサイクルにより得られた収入、有価物の売却益等		107
環境から事業活動への資源投入に伴う費用の節減		3,722
事業活動から環境への負荷及び廃棄物排出に伴う費用の節減		938
環境損傷対応費用の節減		0
その他の費用の節減		0
合 計		4,767

【環境への投資】

2025 年度の環境保全費用

95,045 千円

上記に伴う経済効果

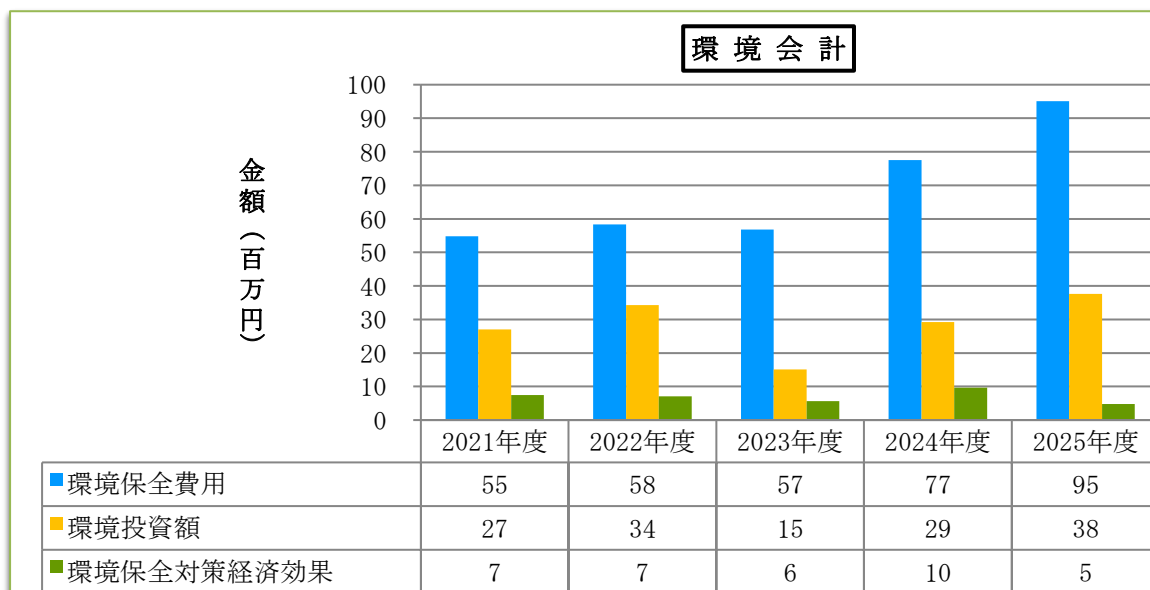
4,767 千円

従って、経済効果対環境保全費用は 5.0%となります。

環境への投資額は 43,595 千円です。尚、環境改善に係る主な設備工事は以下の様になっています。

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| ①廃水处理施設 関連工事 | 37,575 千円 |
| ②照明設備更新(LED 灯)、冷却水用 PU 盤改造工事など | 6,020 千円 |

当工場の過去 5 年間の環境投資額、環境保全費用を下表に示しました



(3) 環境事故

環境事故（公害・苦情）はありませんでした。

(4) 省エネルギー活動とエネルギー使用量の推移

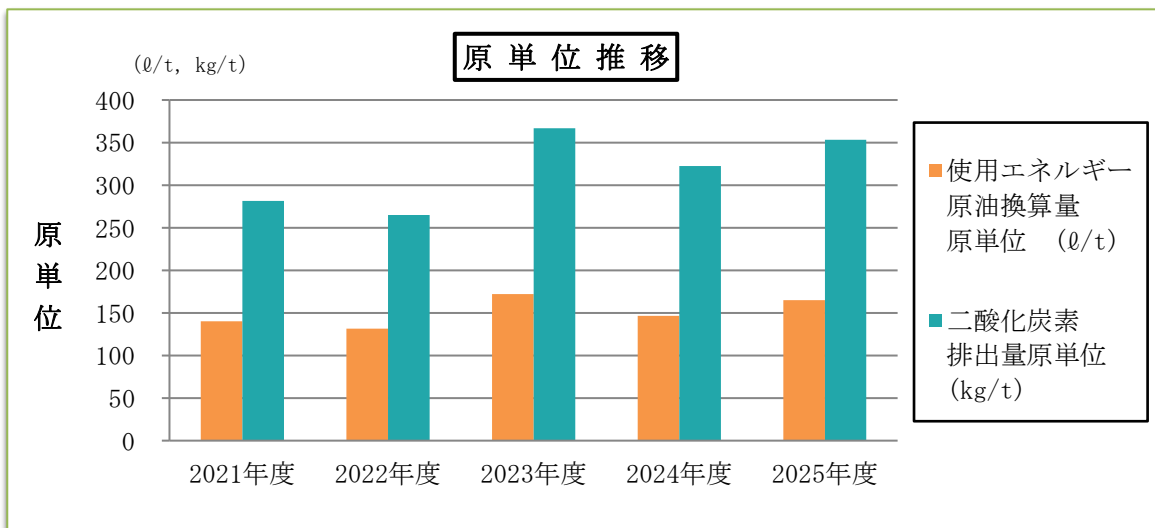
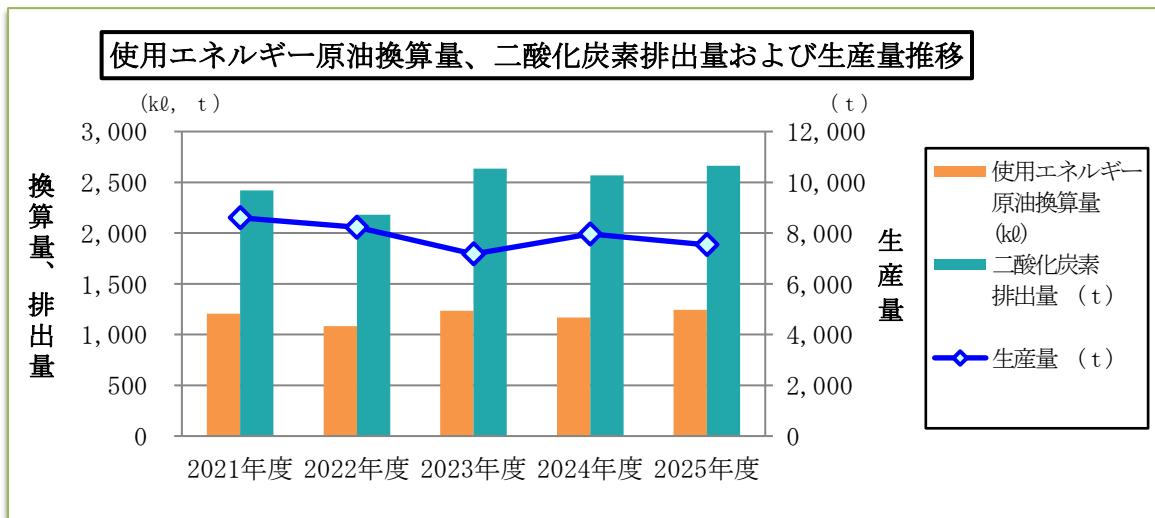
当工場は工程改善による生産の効率化、省エネルギー機器の導入、使用量の適正管理等によりエネルギー使用量の削減に努めています。2025 年度の主な活動は以下の通りです。

- ①排温水の有効利用
- ②LED 照明への部分更新を継続実施
- ③蒸気トレースのトラップ定期点検、管理及び運用など

省エネルギー目標（蒸気、電気 対前年実績原単位 1%低減）については、生産数量の減少に加え、生産品種構成や設備運用条件の影響により、蒸気原単位（11.7%増加）、電気原単位（4.4%増加）共に悪化したため、目標未達の結果となりました。

使用エネルギーの原油換算量、二酸化炭素排出量、生産量について、過去 5 年間の推移を次頁図に示しました。2025 年度の二酸化炭素排出量は前年度比較で増加しています。

今後も継続した設備改善、工程改善を行い二酸化炭素排出量の削減に努めます。



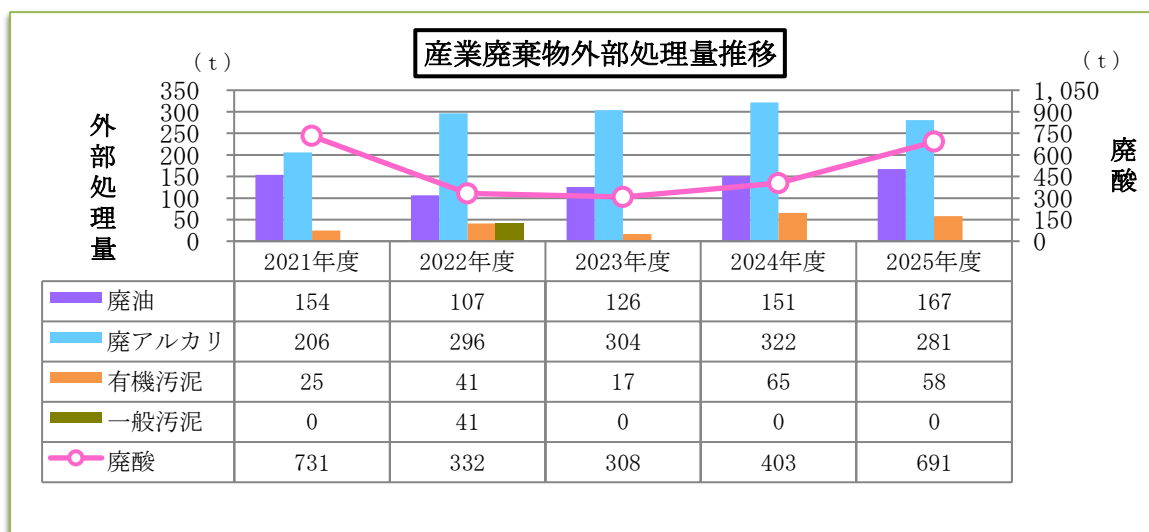
(5) 産業廃棄物の外部処理量推移と削減の取り組み

当工場の産業廃棄物には廃油、廃アルカリ、汚泥(有機・一般)、廃酸などがあり、工程改善、管理強化等により継続的な発生抑制を図っております。

2025年度の結果について、廃油は167tを外部に搬出しました。廃アルカリは281tを外部搬出し、生産品種構成による影響から前年度より41t減少となりました。廃酸発生量も生産品種構成による影響から2,568t(前年度より277t増加)でしたが、内部処理を進め、外部処理量は691t(前年度より288t増加)となりました。

尚、最終埋立量を0.1%未満にする完全ゼロエミッションについては、2025年度も目標を達成しています。

下表に産業廃棄物外部処理量について過去5年間の推移を示しました。

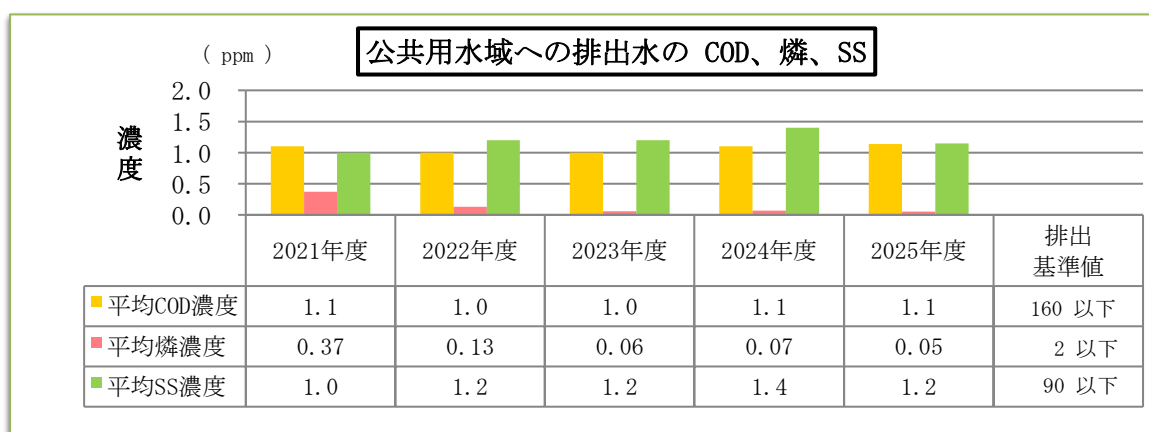


(6) 水質汚濁防止の取り組み

当工場の製造工程から出る廃水には有機物、アルカリ、過酸化水素、蟻酸等が含まれているため、中和、活性汚泥処理等を行った後、公共下水道へ約 200 t / 日を排出しています。

雨水・冷却水は 400 t 容量のピットを経由して公共用水域へ約 1, 400 t / 日排出しています。

いずれの排出水も定期的に水質チェックを実施しており、公共用水域への排出水について 化学的酸素要求量(COD)、浮遊固形物(SS)、磷濃度に関し、過去5年間の年間平均値(毎月の測定値平均)を下グラフに示しました。いずれも排出基準値(規制値は濃度管理が対象) 以下、且つほぼ一定の値で推移しています。尚、他の生活環境項目についても排出基準値を下回っています。



(7) 騒音・振動防止の取り組み

当工場で騒音・振動が発生する設備は空気圧縮機です。この設備は屋内に設置し、外部への影響を少なくしています。また、住宅地側に緩衝地帯を設けて遮音効果の向上を図っています。工場境界線の騒音・振動測定は毎年1回、外部計量証明事業者による測定を行い、いずれも規制値以下で問題のないことを確認しています。

(騒音規制基準値：朝 65/昼間 70/夜間 60 dB、測定値：朝 51/昼間 51/夜間 51 dB)

(振動規制基準値：朝 65/夜間 60 dB、測定値：朝 30 未満/夜間 30 dB)

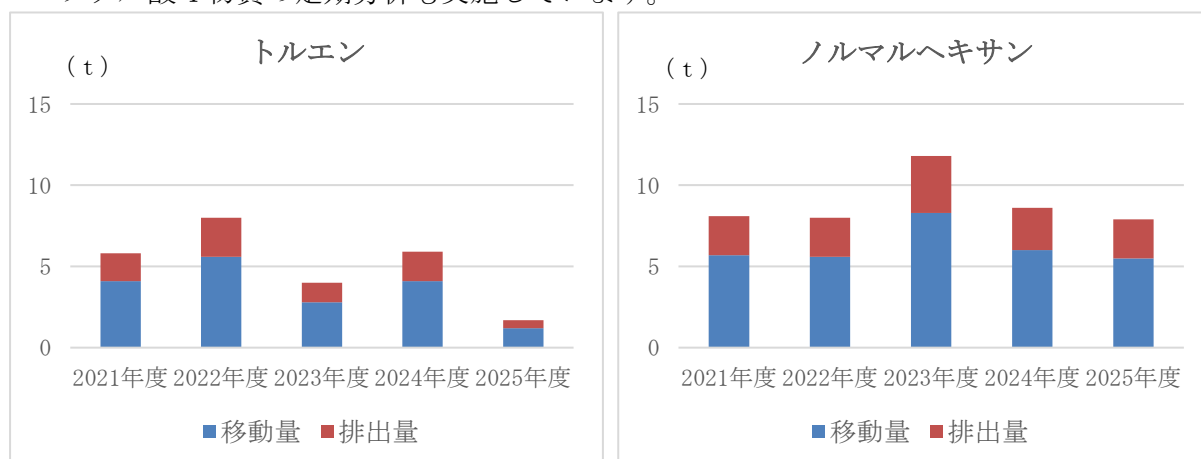
(8) 悪臭防止の取り組み

設備の密閉化と除害設備の設置に加え、排ガス中から悪臭の原因となる溶剤を回収し、再利用しています。

自主点検、定期点検を行い適正に管理することにより、悪臭防止を図っています。悪臭規制物質(トルエン)測定は工場境界で定期的の実施し、検出限界以下を確認しています。(規制基準値：トルエン 10ppm 以下、測定値：1ppm 未満〔測定検出限界 1ppm〕)

(9) 特定化学物質排出量管理の取り組み

PRTR 法に該当する第一種指定化学物質であるトルエン、ノルマルヘキサン、シクロヘキサン^{※2}、ノルマルヘプタン^{※2}の排出・移動量は毎年国への報告を実施し、管理を行っています。また、株主4社の国内外における法規制への的確な対応と連携し、フタル酸4物質の定期分析も実施しています。



生産品種構成などの影響から、昨年に比べトルエンは排出量・移動量共に減少、ノルマルヘキサンも排出量・移動量共に減少、シクロヘキサン^{※2}は排出量=0.2t・移動量=0.5t(昨年度比較で排出量は0.1t減少、移動量も0.2t減少)、ノルマルヘプタン^{※2}は排出量=0.2t・移動量=0.5t(昨年度比較で排出量=0.1t・移動量=0.2t減少)でした。

引続き、工程改善、管理強化などによる排出量・移動量の抑制を図って参ります。

※2 2023年度より、第一種指定化学物質の対象として追加された物質。

(10)環境コミュニケーション

①地域との関わり

当工場は株式会社A D E K A 三重工場と共に地域社会との関わりを重視し、連携して行事に参加しています。工場で開催するサマーフェスティバルや町主催の各種行事などへの参加を通じて、交流促進に努めています。また、ボランティア活動として、地元団地内交差点での交通指導を継続して実施し、安全活動にも貢献しています。これからも地域との信頼関係を大切に、地域社会の発展に寄与してまいります。



交通指導ボランティア

②工場周辺の一斉清掃

株式会社A D E K A 三重工場と協力して工場周辺の一斉清掃を行うと共に、当社独自の工場周辺清掃にも取り組んでいます。



工場周辺美化活動

③外部コミュニケーション

当工場の環境方針、環境・安全レポート等を積極的に公開し、活動の状況を地域の方々、関連する事業所に情報提供を行い、私達の活動に協力いただいています。

6. 安全への取り組み

日常の危険予知活動を中心とした安全諸活動に継続的に取り組んでいます。

また、リスクアセスメントの定着、安全パトロールの強化を図ると共に、他工場などの災害事例を教訓とした安全教育や安全・環境改善を推進し、無事故・無災害を達成しました。今後も無事故・無災害を継続できるよう、全従業員一丸となって安全活動に取り組んでいきます。

(1) 2025 年度安全目標と実績

項目	目標	実績	結果
労働災害	0 件	0 件	目標達成
保安事故	0 件	0 件	目標達成
気掛けヒヤリ報告	44 件	64 件	目標達成
安全・環境改善	128 件	178 件	目標達成

労働無災害時間：984,088 時間 = 6,580 日（2026 年 7 月末時点）

(2) 防災訓練への参加

2025 年 10 月 16 日に、株式会社 ADEKA 三重工場および桑名市消防本部と合同で防災訓練を実施しました。地震発生に伴う当工場タンクエリアでの火災および蟻酸タンク漏洩事故を想定した初期消火、消防本部の専門部隊や各種防災資機材、ドローン等を活用した実践的な負傷者救助、除染対応訓練を通じて、関係機関との連携強化と災害対応力の向上を図りました。このような訓練により、緊急時における迅速かつ適切な対応力を高め、人命の安全確保と災害被害の最小化に努めています。



(お願い)

本レポートに関するご意見、ご質問は以下の窓口にご連絡をお願い申し上げます。

作成	オキシラン化学株式会社 三重工場			環境管理委員会	
確認	オキシラン化学株式会社 三重工場			環境管理責任者	江上 山彦
窓口	オキシラン化学株式会社 三重工場			業務部	笠島 大士
TEL 0594-76-2335 FAX 0594-76-8335					

ご意見をお聞かせください

私たちは地球環境の保全と労働安全衛生に積極的に取り組んでいます。
今回、2026 年度版の環境・安全レポートを発行いたしました。
皆様のご意見、ご感想を参考としてさらに活動を進めていきたいと考えています。
忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

オキシラン化学株式会社 三重工場
環境管理委員会 事務局
FAX 0594-76-8335

1. この環境・安全レポートの記載項目はいかがですか。
a. 充実している b. 普通 c. 物足りない d. その他 ()
2. この環境・安全レポートの記載内容はいかがですか。
a. よく理解できた b. 普通 c. 理解できない d. その他 ()
3. ご意見、ご感想をお願いします。

※お名前、ご住所等は個人情報となりますので、記入は任意です。ご記入いただいた個人情報は本アンケートの調査・分析や今後のサステナビリティ活動の参考にさせていただく目的に限り利用させていただきます。また、個人情報は適切に管理し、第三者への開示は行いません。

ご勤務先

お名前

連絡先ご住所

電話番号

FAX 番号